



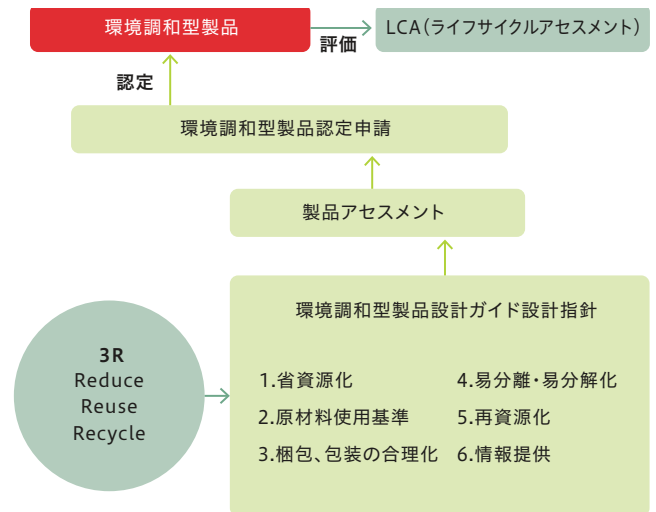
製品の環境配慮

芝浦機械グループは、より環境負荷の少ない製品をお客様にご提供するために、環境調和型製品の開発を積極的に進めています。

環境調和型製品(ECP)の開発

新製品の開発段階から、環境への影響を事前に評価する「製品アセスメント」を実施し、環境負荷の低減を図っています。技術部門では、設計指針と3Rを考慮した「環境調和型製品設計ガイド」に基づき、開発を進めています。完成後に環境調和型製品認定申請書により評価を行ない、認定を受けた製品が環境調和型製品として登録されます。

2019年度は、39機種が新規登録され、累計登録件数は595機種となりました。



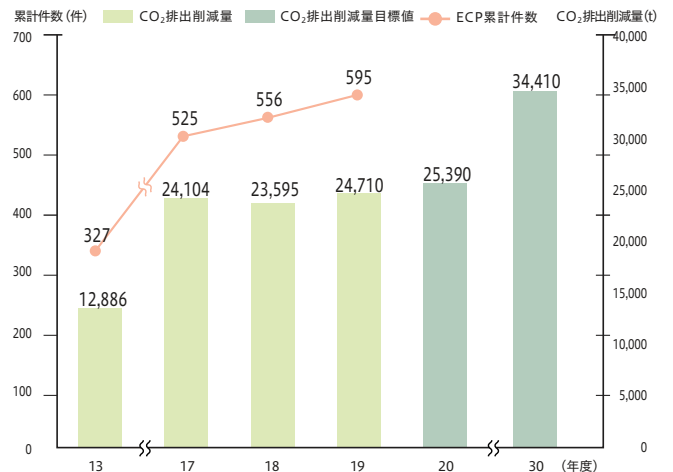
製品の環境負荷低減

環境調和型製品として登録されたすべての製品に対し、原材料、製造、輸送、使用、リサイクル、廃棄までの芝浦機械グループ基準によるライフサイクルアセスメント(LCA)評価を行なっています。さらに、一部製品では従来機種との比較を行ない「CO₂排出削減量」*を算出しています。

*従来機種から省エネルギー性能の高い環境調和型製品への置き換えにより削減できたとみなすCO₂排出量

製品の環境負荷低減への取り組みでは、2020年度の中期目標を「CO₂排出削減量25,390t」として活動を行なっています。2019年度は環境調和型製品の売上向上などにより、CO₂排出削減量は24,710tとなりました。製品のさらなる省エネルギー化に取り組み、中期目標達成を目指します。

環境調和型製品登録件数とCO₂排出削減量の推移



製品使用段階のCO₂排出削減量への取り組み

芝浦機械グループ製品は、長年使用していただける製品が多く、「製品使用段階のCO₂排出量」がライフサイクル全体のCO₂排出量の大部分を占めています。そのため、製品の省エネルギー性能を高めて製品使用段階のCO₂排出量を削減することが、製品の環境負荷低減に効果的です。

製品使用段階のCO₂排出削減量の評価実施例

スカラロボットTHE400

従来機種に対して、モータ容量を削減したことで電力消費量が57%低減できました。その結果、製品使用段階で排出されるCO₂排出量が0.56t削減されます。

